

器具器械 6 9 歯科用蒸和器及び重合器
一般医療機器 歯科技工用成型器 JMDN70750010

ジェットプレスファーネスⅠ

【禁忌・禁止】

1. **目的以外の禁止**：歯科技工作業以外に使用しないこと。
2. **注意事項の厳守**：器具の正しい使用のために、注意事項を必ず守ること。
3. **異常時の使用禁止**：異音や異常が発生した場合は、機器の使用を中止すること。
4. **改造の禁止**：機器の改造をしないこと。
5. **使用温度の厳守**：4000℃以上の温度で使用しないこと。
6. **高温注意**：本体は高温になるので、加熱中は絶対に触れないこと。
7. **設置場所の注意**：本体は高温になるため、周囲に物を置かないこと。設置場所の下には耐火ボードを敷くこと。

【形状・構造及び原理】

①形状・構造



②構造

アルミ製シリンダーに電熱ヒーターと温度制御センサー取り付け付いている溶解装置。

③原理

1. アルミ製シリンダーに電熱ヒーターを取り付け加熱する。
2. アルミ製シリンダーに取り付けた熱制御センサーで加熱温度が制御出来る。
2. シリンダー内に熱可塑性樹脂をセットし、加熱溶解する。

【使用目的、効能又は効果】

歯科技工室で、熱可塑性樹脂を加熱溶解する装置で熱制御装置と接続して、最大400℃まで温度を上昇すること出来る。

【品目仕様等】

外観：目立った傷及び汚れ損がないこと。

作動：熱制御装置と接続して最大400℃まで加熱出来ること。

仕様

- ①ヒーター：220W×1
- ②温度設定：室温～400℃
- ③電源入力：100v（50Hz/60Hz）
- ④消費電力：220W
- ⑤寸法：150(W)×180(D)×170(H)mm
- ⑥重量：4.50kg

【操作方法又は使用方法等】

- ①本体と加熱ヒーター電源コードとセンサーコードを熱制御装置と接続する。熱制御装置は東邦歯科産業製、サーモマスター、坂口電熱製、を使用する。
- ②熱制御装置で温度を設定し加熱する。
- ③設定温度まで上昇後、熱可塑性樹脂をシリンダーにセットし加熱溶解する。
- ④溶解完了後、熱可塑性樹脂を取り出し、ジェットプレスにセットし熱可塑性樹脂の成型を行う。

【使用上の注意】

- ①使用前の注意：各部の点検（保守点検に係る事項参照）を行うこと。
- ②使用中の注意：本体は高温のため直接手でふれないこと。
本体の近くに可燃物を置かないこと。
400℃以上の設定温度で使用しないこと。

異音、異臭、その他不具合が発生した場合、使用を直ちに中止し製造メーカーに連絡すること

- ③使用終了後の注意 完全に冷却を確認すること。
- ④保管上の注意：化学薬品、湿気、ほこりに注意し保管すること。
- ⑤歯科医療有資格者かつ、器具の使用に熟知した者以外使用しないこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- ① 完全に冷却後保管すること。
- ② 水のかからない場所に保管すること。
- ③ 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分が含まれた空気などによる悪影響が生ずる恐れが無い場所に保管すること。
- ④ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などに対する安全状態に注意すること。
- ⑤ 化学製品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

【保守点検に係る事項】

- 1) 破損・ヒビ・キズ・変色。腐食・稼働部の動き等に異常がないことを確認すること
- 2) 機器の使用後は、次の事項に注意すること。
 - ① 完全に温度が下がったことを確認すること。
 - ② 定められた手順により使用前の状態に戻すこと。
 - ③ コードの取り外しに際しては、コードを持って抜くなど無理な力をかけないこと。
 - ④ 付属品、コードなどは清掃した後、整理してまとめておくこと。
 - ⑤ 機器は次回の使用に支障が無いように、必ず清掃しておくこと。
 - ⑥ 故障したときは、勝手にいじらず適切な指示を行い、修理は専門家にまかせること。弊社以外の修理業者へ修理を依頼した場合は、修理の対象箇所、回数に係らず一切の責任を負いかねます。

【包装】

本体

【製造販売業社及び製造業者の氏名、名称及び住所等】

製造販売業者名：東邦歯科産業株式会社
住所：〒336-0034 埼玉県さいたま市南区内容2-10-2
電話番号：048(864)2715
FAX番号：048(866)6969
e-mail：toho@jt7.so-net.ne.jp
許可番号：11B3X00060

取扱説明書を必ずご参照ください。